

# 越 境 人

2011  
WINTER

vol. **3**

코리아国際学園 広報誌

特集  
座談

KIS第1期生

## 大学進学と将来の夢

### 特集2 学校法人および各種学校設置認可の取得へ

- 特別授業 波乱万丈の人生を生きて 吉田潤喜さん (米国・ヨシダグループ会長)
- スペシャルトーク 韓国に魅せられて～日韓交流の架け橋として生きる 黒田福美さん (俳優)



코리아국제학원  
Korea International School

2 特集1・座談

KIS第1期生 大学進学と将来の夢

金 徳 済 (英国・London college of Fashion)  
 白 光 孝 (日本・四国学院大学社会福祉学部)  
 関 竜 一 (韓国・漢陽大学広告広報学科)  
 今庄貴博 (韓国・延世大学外国人グローバル学科/  
 ソウル大学体育教育学科)  
 趙 歩 美 (韓国・ソウル大学社会学科/延世大学社会学科)

6 特集2 学校法人および各種学校設置認可の取得へ

8 特別授業 波乱万丈の人生を生きて

吉田潤喜さん (米国・ヨシダグループ会長)

10 スペシャルトーク

韓国に魅せられて～日韓交流の架け橋として生きる

黒田福美さん (俳優)

12 NEWS REPORT

第3回KIS文化祭を開催  
 ～多彩な文化発表と模擬店  
 カナダで短期英語研修を実施  
 韓国・オユ中学校生徒、KIS訪問  
 地域の「とよかわフェスタ2010」に参加  
 地域の小学校と活発に交流  
 国際色豊かに、  
 第1回豊川フットサル大会を開催  
 地域の住民、イスラム教徒の方々との  
 交流会に参加

16 Activity Report

教養・Liberal Arts科 授業訪問記  
 KISクラブ活動 訪問記 <テコンドー部>



越境人 2011年冬 第3号

・発行日 2011年1月20日

・発行 コリア国際学園

〒567-0057 大阪府茨木市豊川2丁目13番35号

TEL:072-643-4200 FAX:072-643-4401

E-mail: contact-school@kis-korea.org http://www.kis-korea.org/

※越境人は年2回の発行です。 ※本誌記事を無断で転載等する事を禁じます。



“ささえています 街づくり” ナニワグループ

ナニワ生コン株式会社

所在地：〒567-0057 茨木市豊川3丁目7番10号 TEL 072-643-0963 FAX 072-643-3019

取締役社長：姜 彰鎬

代表取締役副社長：姜 昌則

株式会社 大阪誠建

(セメント・生コンクリート販売)

所在地：〒567-0057 茨木市豊川5丁目1番10号  
 TEL 072-643-9311 FAX 072-643-3119

浪速建資産業株式会社

(一般貨物自動車運送事業)

所在地(本社)：〒533-0022  
 大阪市東淀川区菅原4丁目6番5号 TEL 06-6320-0666



建学の精神

境界をまたぐ「越境人」に。

21世紀の国際社会は、グローバル化と情報化が加速する一方で、政治・経済・社会・文化のあらゆる面において、解決すべき人類共通の課題にも直面しています。とりわけ東アジアは、その集約的な地域のひとつとしてダイナミックな変化が予見される歴史的な転換期にあります。

こうした時代状況を未来に向けて切り拓いていくためには、なにより個性と多様性の尊重を基礎とした創造力の溢れる人間が求められています。言い換えれば、柔軟な発想と幅広いコミュニケーション能力を兼ね備え、問題解決能力に優れた人間の育成にほかなりません。

コリア国際学園 (KIS) は、在日コリアンをはじめとする多様な文化的背景を持つ生徒たちが、自らのアイデンティティについて自由に考え学ぶことができ、かつ確かな学力と豊かな個性を持った創造的人間として複数の国家・境界をまたぎ活躍できる、いわば「越境人」の育成を目指します。

コリア国際学園 (KIS) は、すべての教育活動を通じて相互の信頼と協力を深め、地域社会に根ざし、コリアにつながり、世界に開かれた国際学校として、世界と東アジアの持続可能な発展に貢献します。

教育理念

多文化共生

民族的アイデンティティと自尊感情を育むとともに、多文化共生社会の実現に向けた知識、技能、態度を身につけた人間を育成する。

人権と平和

人間の尊厳と民主主義を尊重し、世界平和を希求する普遍的価値を創造するとともに、地球的視野を持ち、持続可能な社会の構築に貢献できる人間を育成する。

自由と創造

真の自由を理解し、豊かな個性と多様性を基礎とした創造力の溢れる人間を育成する。

◆ 校章・シンボルマーク ◆

目であり  
 宇宙であり  
 太陽であり地球であり  
 そして みつめていて、考えていて  
 そして いつも ゆれている



◆ デザイン・文 ◆

黒田 征太郎 Seitaro Kuroda  
 (イラストレーター)

くろだ・せいたろう ● 1939年大阪府生まれ。  
 '92年にNew Yorkへ移住。イラストレーターとしてポスターや挿し絵で数々の賞を受賞するとともに、壁画制作、ライブペインティングなど幅広いアーティスト活動を展開。  
 コリア国際学園の発起人のひとり。

◆ コメント ◆

色は 中心が 赤 (火) (光)  
 その外が 黄 (アジア)  
 その外が 草色 (地)  
 その外が 青 (天であり水)  
 としました



高齢者の社会福祉の向上に  
少しでも力になりたい (白)

― 進学する大学と学部と志望動機について ―  
**金徳済** イギリスのロンドン芸術大学のなかにある London College of Fashion に進学します。ロンドン芸術大学は6つの大学の連合体からなるのですが、そのなかの2つの大学がファッションの分野で世界的に有名です。ひとつは、いわゆる芸術的なファッション、もうひとつは実用的・機能的なファッションを専門としています。  
わたしは、一般の人に幅広く着てもらいたいから実用的・機能的なファッションを学ぶコースを選択したいと考えています。1年目は基本コースであり、2年目から専門コースを選択します。将来はスポーツ関連のデザイナーを目指しています。

**白光孝** 四国学院大学社会福祉学部に進みます。小さいころからキリスト教の教会に通い、苦労している「在日」のおばあちゃんやおじいちゃんの姿を見てきたので、高齢者の社会福祉の向上に少しでも力になればと思っています。高齢者の人と話するのが好きだし。  
**関竜一** 韓国の漢陽大学広告報学科に進学します。テレビCMを制作する裏舞台を、なにかの番組で見て面白いなと思い憧れました。  
**今庄貴博** 韓国の延世大学外国人グローバル学科に進学します。来年2月の韓国語の追加試験で結果が良ければ、経営学部に進むつもりです。これからの将来を考えると、個人的に家庭を築いていく上でも、また社会の動きを理解する上でも、お金の動き、金融について学んでいくことは大切なことだし関心があります。



日本人に足りない知識や考え方を  
KIS で学ぶことができた (今庄)

― KISの3年間で学んだことについて ―  
**今庄貴博** わたしが学んだことで一番大きかったことは、やはりコリア語の習得ですね。それと、

在日コリアンの歴史を学んだことです。日本人に足りない知識や考え方をKISで学ぶことができました。日本人である自分にとっては、国際的な視野から物事を見ていくときに大きな力になると思います。  
2年間の生徒会長の経験は、リーダーシップや統率力を学ぶ機会になりました。まだ十分ではないけれども、後輩から信頼をえて全体を見回しながら、ひとつの方向に引っ張っていく力が身についたと思います。事柄について深く考える習慣もついたように思います。例えば、どうしてこの規則は守らないとダメなのか、と言われたときに、単にダメだからではなくて、相手に理解してもらえるように話すことの大切さを学びました。

# 越境人 特集座談 KIS第1期生

## 大学進学と将来の夢

今春2月、高等部3年生の第1期生9名がKISを卒業します。現在、日本の国立・私立大学の入試が本番を迎えています。今回は、いち早く第一志望大学に合格した5名の第1期生に3年間の学園生活で学んだことや大学進学と将来の夢について素直に語っていただきました。  
(座談日：2010年12月22日)



**金徳済**  
英国・London College of Fashion

**白光孝**  
日本・四国学院大学社会福祉学部

**関竜一**  
韓国・漢陽大学広告報学科



**今庄貴博**  
韓国・延世大学外国人グローバル学科  
ソウル大学体育教育学科

**趙歩美**  
韓国・ソウル大学社会学科  
延世大学社会学科



「はじめての場所でも生きていける」という自信がついた (金)

**趙歩美** 先生たちも「在日」、韓国、日本、イギリス、アメリカなど多様な人たちが集まっているので、広い視野や視点から考えることができるようになったように思います。

**金徳済** KISに入り英語力は格段に伸びました。先日寄宿舎で掃除をしていたときに、高等部1年時の英語のノートが出てきました。それを見ると高1の時に、基礎的な文法をものにしたことで、ガンと伸びているなど実感しました。高3に入ってから、留学を考えていたので会話に力を入れましたが。

KISに入学してすぐ韓国に行ったり、個人的にアメリカやイギリスのオープンキャンパスに行ったり、とにかく「やってみる」との大切さを知りました。高校になってから実感したので

けれど、負けて当たり前ではなく、抜かすぐらいの気持ちでのぞみ、大学でも良い成績を残したい。将来は、デザイナーとしてNike(ナイキ)やAdidas(アディダス)など世界的なスポーツ用品会社で働きたい。

**関竜一** とにかく頑張ることです。わたしの夢は日韓の枠を越えて、世界にメッセージを発信できる広告を制作することです。後輩たちには、何にでもチャレンジしてほしい。自分がイヤなことでも、やってみる。考えるだけでは限界がある。行動した結果、失敗や悪い結果になったとしても、次につながると思えます。中高生の時期に失敗しても取り返すことは、いくらでもできる。後輩たちには、失敗を恐れず、チャレンジすることの大切さを伝えたい。



子どもの貧困問題などの解決に役立つ国連の職員になりたい (趙)

が、「はじめての場所でも生きていける」という自信ができました。「できそう、やってみよう」というポジティブな考えを持つようになりました。

**白光孝** KISでテコンドー部に入り、一生懸命に打ち込みました。自分にとっては人生を変えるほどのスポーツでした。テコンドーをやった2年間があるから、今の自分があるのかなあ、って。最初はサークルからだと思いますが、四国学院大学にテコンドー部を立ち上げたい。社会福祉の勉強にも打ち込みたい。

— 今後の抱負や後輩へのメッセージ —

**白光孝** 勉強とスポーツに限りない挑戦をしたい。何事にもあきらめることなく、他人に対しても家族のように接する。KISは小さな学校で、毎日学校生活をともにしているの、みんなファミリーのような存在です。ですから、KISに関心を持っている後輩たちには、心配せずに素直な気持ちで入ってきてほしい。

**今庄貴博** 大学での目標は、とにかく勉強を頑張ります。韓国の大学での勉強は厳しいと聞いているので頑張ります。大学では、KISで学んだロシア語、英語、日本語にプラスしてもう1、2か国語を学んで、将来は自分の能力を生かせる仕事に就きたいと考えています。外資系の企業に進みたい。



1期生の大学進学  
の時期を迎えて



早くも1期生が受験生である。志をもって入学してきた生徒たちだけあって意思決定が早く、3年生4月にはそれぞれの希望にむかって進み始めていた。韓国3名、イギリス1名、日本5名と、受験の型も時期も異なる。韓国留学希望者は4月から準備を始め、ロシア担当の進路指導の教員のサポートを受けながら何度も課題文を推敲し、書類を整えた。

本学園初の願書を提出したのは7月7日。合格の第一報は8月17日の深夜に届いた。その後も吉報が続き、3人とも第一志望大学に決まった。イギリス留学の受験は12月。2年生の時から着々と準備し、英語の実力向上のための努力も惜しまず続けた。日本の大学にも1名が特別推薦枠を利用し進学を決めた。志望理由書には大学への思いや将来への希望があふれていた。

年明け、いよいよ日本の受験が本番だ。一人で立ち向かう生徒たちの姿にははらはししながら、同時に私たちの手から離れていくことに頼もしさと、わずかな寂しさを覚える日々である。

(進路指導教員：金美那)

座談会を終えて



1期生の発言の中に、転換期の時代を生き抜くキーワードがダイヤモンドの原石のように散りばめられていた。多様な価値観や視点を受容する力、確かな語学力に裏打ちされた国際性、まずはチャレンジしてみようとする行動力。持続可能な社会に向けた高い社会貢献意欲など。

これらはすべてKISの目指す教育の方向性や生徒像と重なり合うものだ。と同時に、閉塞する時代状況を切り拓くための不可欠な資質にほかならない。3年間の1期生の学びの到達点にこそ、KISが進むべき今後の方向が、深く示唆されているように感じた。

彼・彼女らが生きる時代は、すでに予測可能なゴールをめざしてキャッチアップする時代ではなく、予測不可能なゴール自体を創造する時代だ。KISで学んだ「基礎体力」を土台に、それぞれの夢をつかみ取って欲しいと願わずにはおれない。あとは大学や社会での成功や試練の「経験」だけではないか。それにしても、子どもたちの持つ潜在的な力と成長のスピードには目を見張るばかりだ。

(進行役 宋悟・KIS事務局長)



失敗を恐れず、チャレンジすることの大切さを伝えたい (関)

**趙歩美** 大学に入って学科の勉強もすっかりしたいけれど、いろいろなどところに出かけて行って、たくさんの人と出会って心豊かな人になりたい。海外に出かけて、ボランティアもしたい。社会人になってからは、途上国の子どもたちの貧困問題や労働問題の解決に役立つ国連の職員になりたいと思っています。

KISは自分がしたいと思い、意欲さえあればなんでもできる学校だ、と思うのでは非この学校で学んでほしい。

**金徳済** イギリスに行くので、目標は語学であれば当然英語を伸ばすこと、それにロシア語と日本語を忘れないようにすること。留学すると現地の大学生にはついていけない、と一般的に言われる